

高校入試過去問(東 邦) (R2)年数学

(100点満点(40)分))

1.

(1) $\left(\frac{1}{6} - \frac{3}{4}\right) \times (-12) - (-3)^3$ を計算せよ。

(2) $(a + b)^2 - 4(a + b) + 4$ を因数分解せよ。

(3) $(\sqrt{3} + \sqrt{5})^2 - (\sqrt{3} - \sqrt{5})^2$ を計算せよ。

(4) 2つの直線 $y = 2x - 3$, $y = -x - 1$ の交点の座標を求めよ。

(5) 方程式 $3x^2 + 5x + 1 = 0$ を解け。

2.

(1) 3点 $P(3, -2)$, $Q(6, 10)$, $R(-2, a)$ が一直線上にあるとき, a の値を求めよ。

(2) n は1ケタの自然数とする。 $\sqrt{72(n-1)}$ が自然数になるとき, n にあてはまる自然数をすべて求めよ。

(3) ある数 x を、2 乗しなければいけないところを間違えて 2 倍したため、計算結果は正しい値よりも 35 小さくなった。 x を求めよ。

(4) 2 つのさいころを同時に投げるとき、出た目の 2 つの数の積が奇数である確率を求めよ。

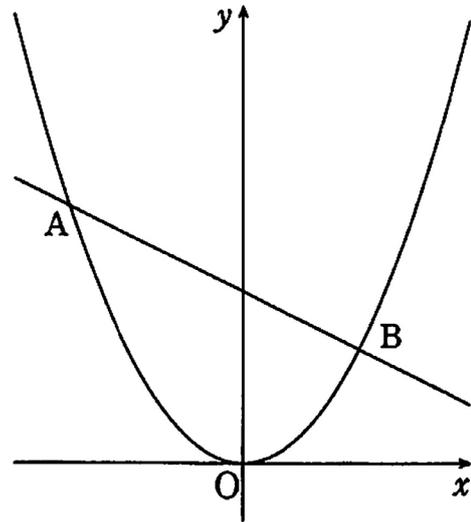
(5) 映画館でポップコーンを注文するとサイズはS, M, Lの3つあり、相似な円柱の形の箱に入っている。Mサイズは600円で直径8cm, 高さ16cm, Sサイズは300円で直径, 高さともにMサイズの0.75倍, Lサイズは1100円で直径, 高さともにMサイズの1.25倍である。この日はキャンペーン中でSサイズを4つ買うと1割増量。Mサイズは2つ買うと10%値引きしてくれる。このとき、100円あたりのポップコーンの量が一番多いのはどれか。次の中から最も適するものを1つ選び記号で答えよ。

(ア) Sサイズを4つ (イ) Mサイズを2つ (ウ) Lサイズを1つ

3.

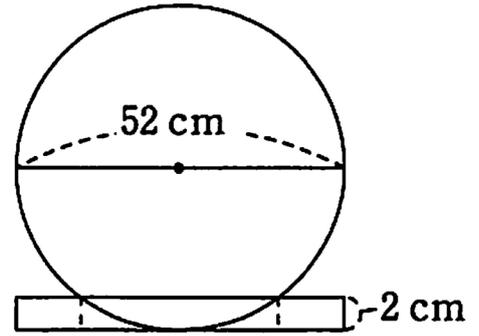
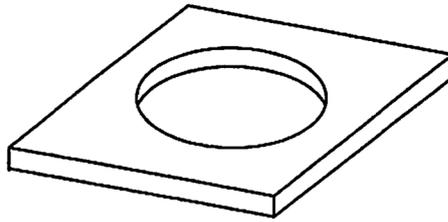
図のように、放物線 $y = \frac{1}{2}x^2$ と直線 $y = -\frac{1}{2}x + 3$ との交点のうち、 x 座標が負であるものをA、 x 座標が正であるものをBとする。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) 点A、Bの座標をそれぞれ求めよ。
- (2) $\triangle OAB$ の面積を求めよ。
- (3) 点Aを通り、 $\triangle OAB$ の面積を2等分する直線の式を求めよ。
- (4) x 軸上に点P(t , 0)をとる。ただし、 $t < 6$ とする。 $\triangle APB$ の周の長さが最も小さくなる t の値を求めよ。

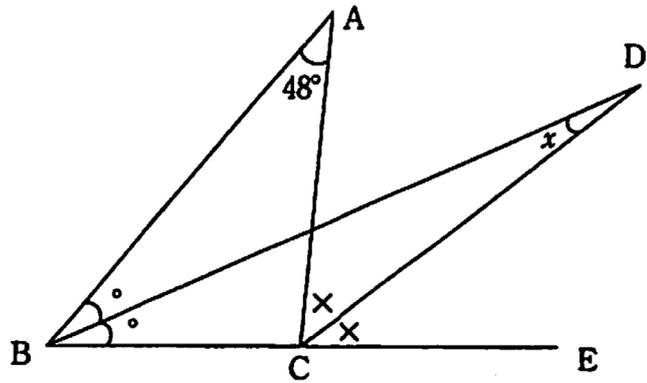


4.

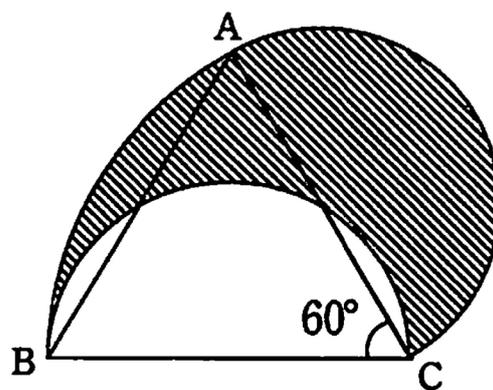
- (1) 直径が52cmのバランスボールを安定させるために、次のような台を作る。厚さ2cmの板から円を切り抜いて穴を開ける。ボールが円形の穴のふちと床面にちょうどふれるような穴の大きさにする。このとき、切り抜く円の半径を求めよ。



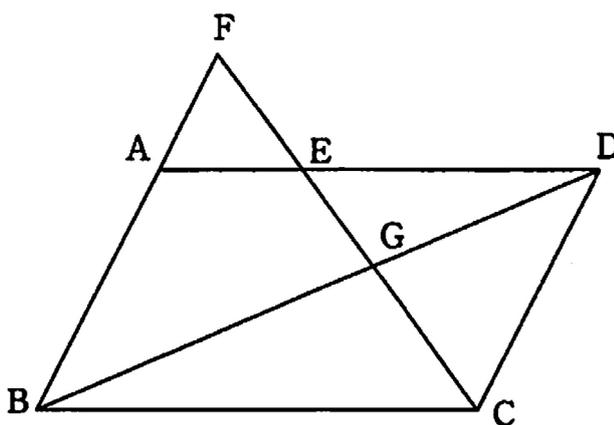
- (2) 右の図において、 $\angle ABC$ の二等分線と $\angle ACE$ の二等分線の交点をDとする。 $\angle x$ の大きさを求めよ。



- (3) 右の図の $\triangle ABC$ は一辺6 cmの正三角形である。BCおよびACを直径とする半円とおうぎ形CABが重なってできる図の斜線部分の面積を求めよ。



- (4) 右の図の平行四辺形ABCDで、点Eは辺ADを2 : 3に分ける点である。また、点Fは、BAとCEをそれぞれ延長した直線の交点、点Gは、BDとCFの交点である。
- ① $EG : GC$ を求めよ。
 - ② $\triangle AEF$ と $\triangle DCG$ の面積比を求めよ。



高校入試過去問(東 邦) (R2)年数学

(100点満点(40)分)

1.

(1) $(\frac{1}{6} - \frac{3}{4}) \times (-12) - (-3)^3$ を計算せよ。

$$= \frac{1}{6} \times (-12) - \frac{3}{4} \times (-12) - (-27)$$

$$= -2 + 9 + 27$$

$$= \underline{\underline{34}} \#$$

(2) $(a+b)^2 - 4(a+b) + 4$ を因数分解せよ。

$$a+b = M \text{ とおくと}$$

$$M^2 - 4M + 4$$

$$= (M-2)^2$$

$$M = a+b \text{ を戻すと}$$

$$\underline{\underline{(a+b-2)^2}} \#$$

重要

普通に展開しても

$$a^2 + 2ab + b^2 - 4a - 4b + 4$$

となり手詰まり...。

置換が必要の流れに
に気づいておこう！

(3) $(\sqrt{3} + \sqrt{5})^2 - (\sqrt{3} - \sqrt{5})^2$ を計算せよ。

$$\begin{aligned} \sqrt{3} + \sqrt{5} &= M \\ \sqrt{3} - \sqrt{5} &= N \end{aligned} \text{とおくと}$$

$$M^2 - N^2$$

$$= (M+N)(M-N)$$

$$= \{ (\sqrt{3} + \sqrt{5}) + (\sqrt{3} - \sqrt{5}) \}$$

$$\times \{ (\sqrt{3} + \sqrt{5}) - (\sqrt{3} - \sqrt{5}) \}$$

$$= 2\sqrt{3} \times 2\sqrt{5} = \underline{\underline{4\sqrt{15}}} \#$$

(別アプローチ) 普通に展開

$$\begin{aligned} &(\sqrt{3})^2 + 2 \times \sqrt{3} \times \sqrt{5} + (\sqrt{5})^2 \\ &- ((\sqrt{3})^2 - 2 \times \sqrt{3} \times \sqrt{5} + (\sqrt{5})^2) \end{aligned}$$

$$= 3 + 2\sqrt{15} + 5$$

$$- (3 - 2\sqrt{15} + 5)$$

$$= 4\sqrt{15}$$

こんな風に平方に変わらないか
左の方法でないと解けない
問題が怖い。

2.

(1) 3点P(3, -2), Q(6, 10), R(-2, a) が一直線上にあるとき, aの値を求めよ。

$$\textcircled{1} \text{ PQの傾き} = \frac{10 - (-2)}{6 - 3} = \frac{12}{3} = 4$$

$$\textcircled{2} \text{ PRの傾き} = \frac{a - (-2)}{-2 - 3} = \frac{a+2}{-5}$$

$$\frac{a+2}{-5} = 4 \quad \text{両辺} \times (-5)$$

$$a+2 = -20$$

$$\underline{a = -22} \quad \#$$



3点 が 一直線上。

PQ, PR, QRの
うち 2本の傾きが
等しいという式を
作る!

(2) nは1ケタの自然数とする。 $\sqrt{72(n-1)}$ が自然数になるとき, nにあてはまる自然数をすべて求めよ。

$$\begin{aligned} \textcircled{1} \sqrt{72(n-1)} &= \sqrt{72} \times \sqrt{n-1} \\ &= 6\sqrt{2} \times \sqrt{n-1} \\ &= 6\sqrt{2(n-1)} \end{aligned}$$

n=1~9 のとき $6\sqrt{2(n-1)}$ が 自然数 となる
nを見つける。

$$2(n-1) = k^2 \quad \text{となれば} \sqrt{\quad} \text{が 外れる。}$$

(k:自然数)

$$\textcircled{1} \begin{array}{ccc} 0 \leq 2(n-1) \leq 16 & \text{なので} & 2(n-1) = 1^2, 2^2, 3^2, 4^2 \text{ の 4通り} \\ \uparrow & & \\ n=1 & & \uparrow \\ & & n=9 \end{array}$$

$$\textcircled{2} 2(n-1) = 1^2 \rightarrow n = \frac{3}{2} \quad \times$$

$$2(n-1) = 2^2 \rightarrow n = 3 \quad \bigcirc$$

$$2(n-1) = 3^2 \rightarrow n = \frac{11}{2} \quad \times$$

$$2(n-1) = 4^2 \rightarrow n = 9 \quad \bigcirc$$

$$\therefore \underline{n = 3, 9} \quad \#$$

(3) ある数 x を、2 乗しなければいけないところを間違えて 2 倍したため、計算結果は正しい値よりも 35 小さくなった。 x を求めよ。

$$x^2 - 35 = 2x$$

$$x^2 - 2x - 35 = 0$$

$$(x+5)(x-7) = 0$$

$$x = -5, 7$$

_____ //

(4) 2 つのさいころを同時に投げるとき、出た目の 2 つの数の積が奇数である確率を求めよ。

① 2 つのさいころの出目の総数は 36 通り。

② 2 つの出目の積が奇数となるのは、

2 つとも奇数の場合なので



の 9 通り

$$\therefore \frac{9}{36} = \frac{1}{4}$$

_____ //



全ての 36 通りを樹形図で書いてもよいが、上のように、規則性がわかるといけば、

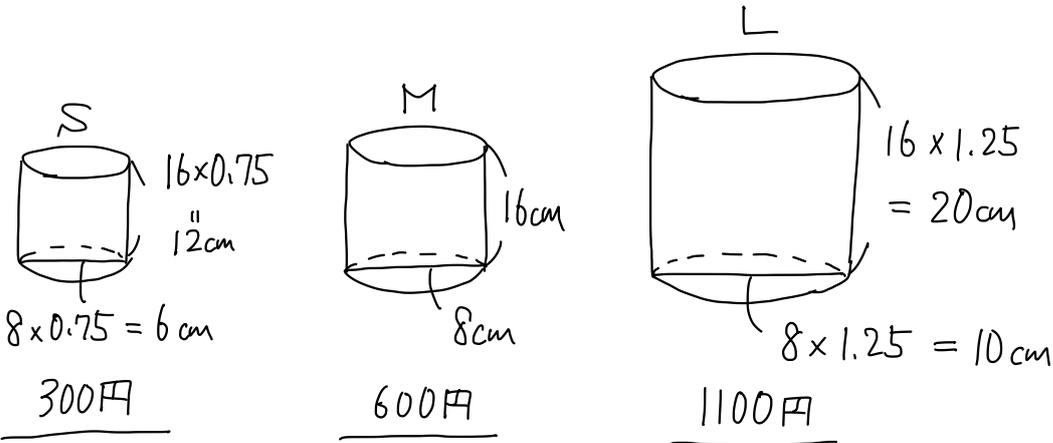
しぼりこめるので、短い時間で解ける可能性が高まる！



高校以上は、この方法でないと、しぼりこみでないと解けない。

(5) 映画館でポップコーンを注文するとサイズはS, M, Lの3つあり、相似な円柱の形の箱に入っている。Mサイズは600円で直径8cm, 高さ16cm, Sサイズは300円で直径, 高さともにMサイズの0.75倍, Lサイズは1100円で直径, 高さともにMサイズの1.25倍である。この日はキャンペーン中でSサイズを4つ買うと1割増量, Mサイズは2つ買うと10%値引きしてくれる。このとき, 100円あたりのポップコーンの量が一番多いのはどれか。次の中から最も適するものを1つ選び記号で答えよ。

(ア) Sサイズを4つ (イ) Mサイズを2つ (ウ) Lサイズを1つ



容積

$3 \times 3 \times \pi \times 12$ $= 108\pi$	$4 \times 4 \times \pi \times 16$ $= 256\pi$	$5 \times 5 \times \pi \times 20$ $= 500\pi$
---	---	---

<p>↓ 4つ買うと1割増</p> $(108\pi \times 4) \times \frac{11}{10}$ $= \frac{4752}{10} \pi$	<p>↓ 2つ買う</p> $256\pi \times 2$ $= \frac{5120}{10} \pi$	<p>↓ 1つのまま</p> 500π $= \frac{5000}{10} \pi$
---	--	--

<p>↓ 4つ分の値段</p> $300 \text{円} \times 4 = 1200 \text{円}$	<p>↓ 2つ分の値段</p> $600 \text{円} \times 2 = 1200 \text{円}$ <p>10%引きをで</p> $1200 \times \frac{90}{100} = 1080 \text{円}$	<p>↓ 1つ</p> 1100円
---	--	-----------------------------

<p>100円あたりの量</p> $\frac{4752}{10} \pi \div 1200$ $\approx 0.40\pi$	$\frac{5120}{10} \pi \div 1080$ $\approx 0.47\pi$	$\frac{5000}{10} \pi \div 1100$ $= 0.45\pi$
---	--	--

∴ 100円あたり量も多しのは (イ) Mサイズを2つ

3.

図のように、放物線 $y = \frac{1}{2}x^2$ と直線 $y = -\frac{1}{2}x + 3$ との交点のうち、 x 座標が負であるものをA、 x 座標が正であるものをBとする。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) 点A、Bの座標をそれぞれ求めよ。
- (2) $\triangle OAB$ の面積を求めよ。
- (3) 点Aを通り、 $\triangle OAB$ の面積を2等分する直線の式を求めよ。
- (4) x 軸上に点P(t , 0)をとる。ただし、 $t < 6$ とする。 $\triangle APB$ の周の長さが最も小さくなる t の値を求めよ。

(1)
$$\begin{cases} y = \frac{1}{2}x^2 \\ y = -\frac{1}{2}x + 3 \end{cases}$$
 の解と交点の座標が等しいので

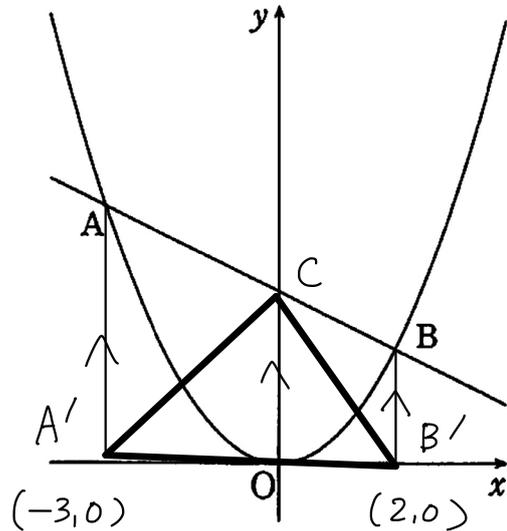
$$\frac{1}{2}x^2 = -\frac{1}{2}x + 3$$

$$x^2 + x - 6 = 0$$

$$(x+3)(x-2) = 0 \quad \leftarrow \text{A, Bの } x \text{座標}$$

$$x = -3, 2$$

$$A(-3, \frac{9}{2}) \quad B(2, 2)$$



(2) 右図のように、等積変形すると $\triangle OAB = \triangle OA'B'$ となり
 AB と y 軸との交点をCとすると $C(0, 3) \leftarrow$

$$y = -\frac{1}{2}x + 3 \text{ の } y \text{ 切片}$$

$$\begin{aligned} \therefore \triangle OA'B' &= A'B' \times OC \times \frac{1}{2} \\ &= 5 \times 3 \times \frac{1}{2} = \frac{15}{2} \end{aligned}$$

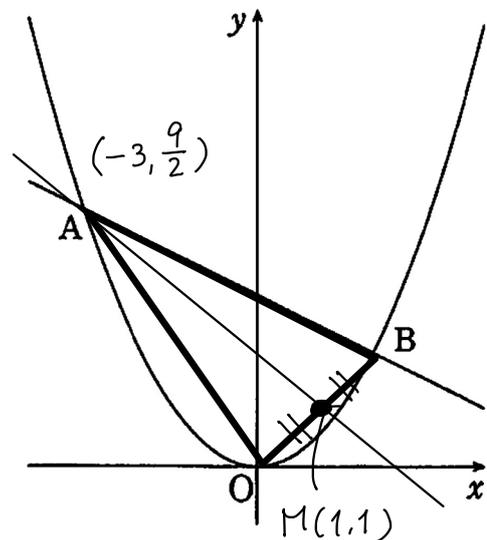
(3) 求める直線は
 OB の中点MとAを
 結んだ直線である。

$O(0,0)$ $B(2,2)$ より

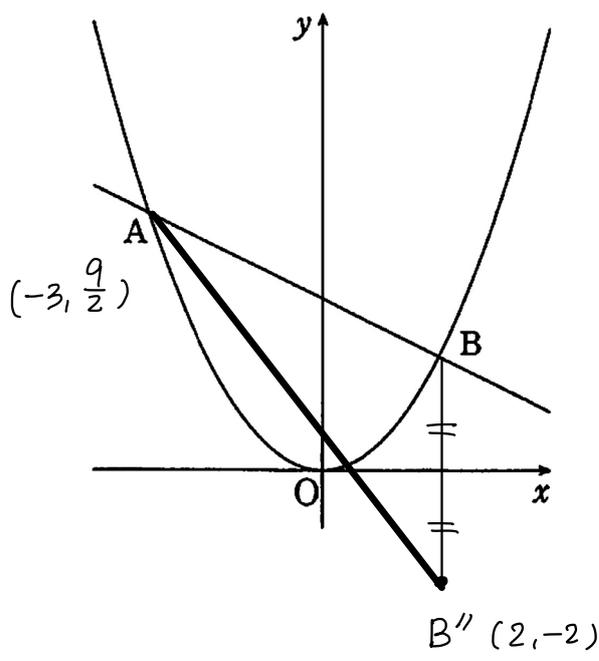
$$M\left(\frac{0+2}{2}, \frac{0+2}{2}\right) = M(1,1)$$

$A(-3, \frac{9}{2})$, $M(1,1)$ より

$$y = -\frac{7}{8}x + \frac{15}{8}$$



(4) x軸上に点P(t, 0)をとる。ただし、 $t < 6$ とする。△APBの周の長さが最も小さくなるtの値を求めよ。



① Bとx軸対称の点を
B''とすると B''(2, -2)

② 求みたい点Pの位置は、
x軸と直線 AB''の
交点である。

☺ AP + PB = AP + PB'' は、
(3点 A, P, B'' が直線上に
あるときが最短であるから。)

③ AB''の式を求めろ。

A(-3, 9/2), B''(2, -2) を通るのぞい

(3) 同様に求めて $y = -\frac{13}{10}x + \frac{3}{5}$

④ x軸との交点は $y=0$ を代入すれば

よって $0 = -\frac{13}{10}x + \frac{3}{5} \quad x = \frac{6}{13}$

以上より $t = \frac{6}{13}$ //

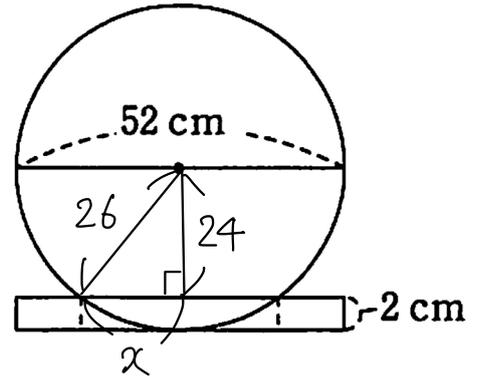
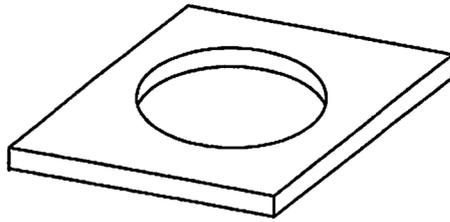


対称の点に移し、3点が一直線上
であることを利用して考える問題は他にもある。

- ・ 反射
- ・ ビリヤードの入射角 など。

4.

- (1) 直径が52cmのバランスボールを安定させるために、次のような台を作る。厚さ2cmの板から円を切り抜いて穴を開ける。ボールが円形の穴のふちと床面にちょうどあはれるような穴の大きさにする。このとき、切り抜く円の半径を求めよ。



円の問題は、
半径の補助線
が有効。

$$\begin{aligned} x &= \sqrt{26^2 - 24^2} \\ &= \sqrt{(26+24)(26-24)} \\ &= \sqrt{50 \times 2} = \sqrt{100} \\ &= 10 \text{ cm} \end{aligned}$$

- (2) 右の図において、 $\angle ABC$ の二等分線と $\angle ACE$ の二等分線の交点をDとする。 $\angle x$ の大きさを求めよ。

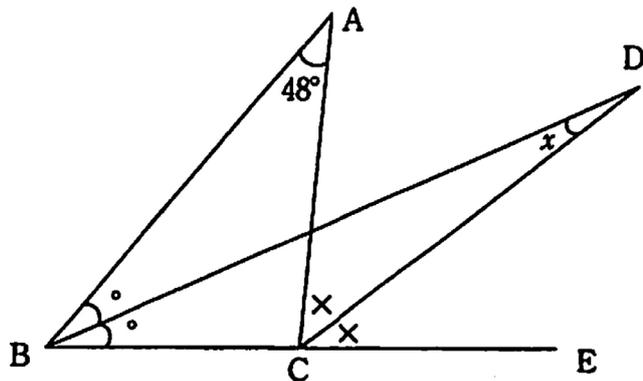
- ① $\triangle ABC$ で外角の性質を用いて

$$20^\circ + 48^\circ = 2x \quad \dots \textcircled{1}$$

- ② $\triangle DBC$ で同様に、

$$0^\circ + x = x \quad \dots \textcircled{2}$$

① - ② $\times 2$ で x を消す。

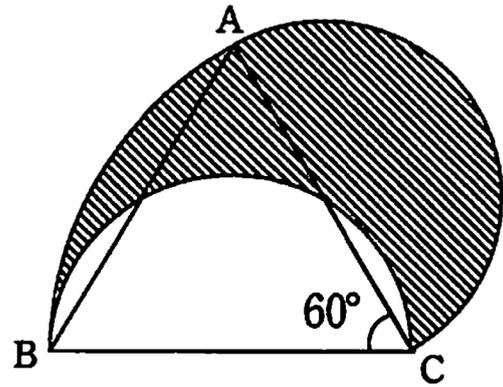


$$\begin{cases} 20 + 48 = 2x \\ -) \quad 20 + 2x = 2x \end{cases}$$

$$48 - 2x = 0$$

$$x = 24$$

- (3) 右の図の△ABCは一辺6cmの正三角形である。BCおよびACを直径とする半円とおうぎ形CABが重なってできる図の斜線部分の面積を求めよ。



求める面積

$$= \text{おうぎ形} ACB \\ + AC \text{ を直径とする半円} \\ - BC \text{ を直径とする半円}$$

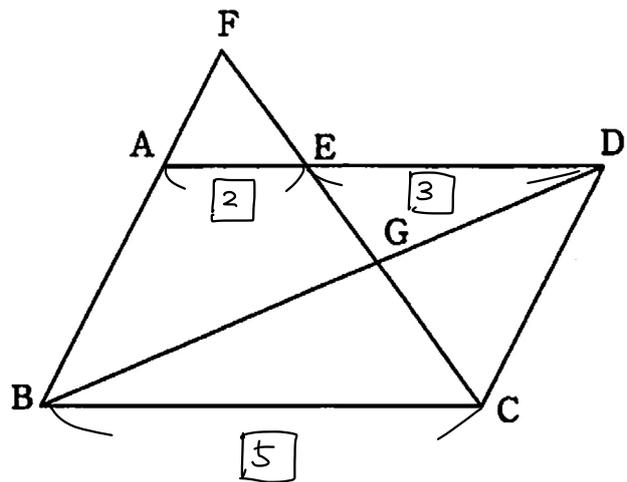
この2つの面積は等しいので
あわせると0になり、

$$\begin{aligned} \text{求める面積} &= \text{おうぎ形} ACB \\ &= 6 \times 6 \times \pi \times \frac{60}{360} \\ &= 6\pi \text{ (cm}^2\text{)} \end{aligned}$$



特殊な型は
組み合わせると
きれいな図に
なることが多い!

- (4) 右の図の平行四辺形ABCDで、点Eは辺ADを2:3に分ける点である。また、点Fは、BAとCEをそれぞれ延長した直線の交点、点Gは、BDとCFの交点である。
- ① EG:GCを求めよ。
 - ② △AEFと△DCGの面積比を求めよ。



① △EGDと△CGBで
BCは2+3で5
∴ EG:GC = ED:CB
= 3:5

② $\triangle AEF$ と $\triangle DCG$ の面積比を求めよ。

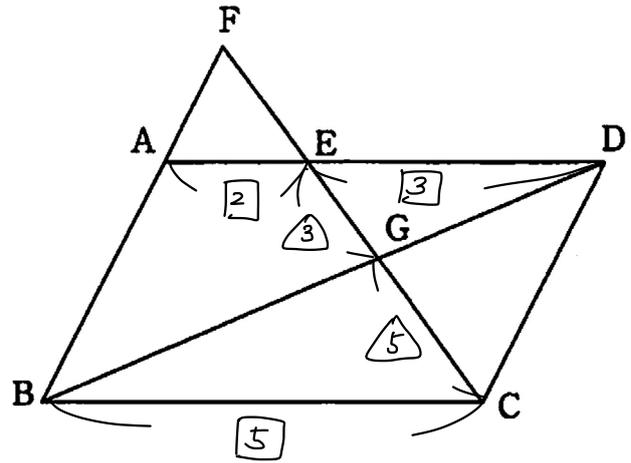
① $AE:ED = 2:3$ より

$\triangle AFE$ と $\triangle DCG$ で
面積比は

$$\triangle AFE : \triangle DCE$$

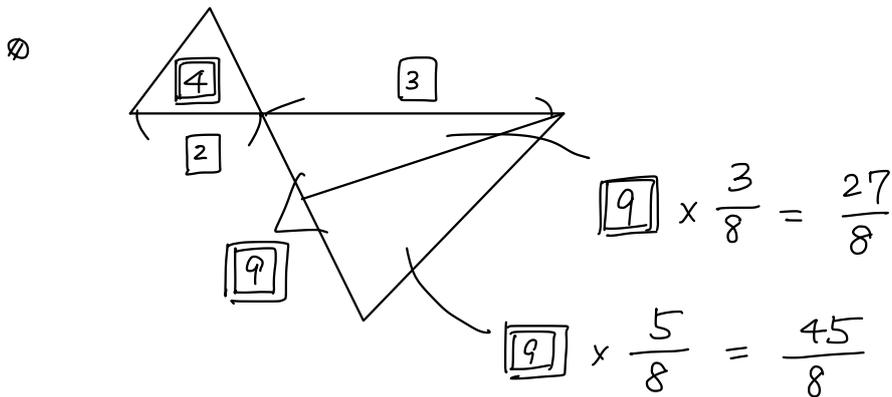
$$= 2^2 : 3^2$$

$$= 4 : 9$$



①より $EG:GC$ は $3:5$ ため

$\triangle EGD : \triangle DCG = 3 : 5$ とする。(面積比)



$$\begin{aligned} \therefore \triangle AEF : \triangle DCG &= 4 : \frac{45}{8} \\ &= \underline{\underline{32 : 45}} \end{aligned}$$



相似比で面積比を求める場合

底辺比で求める場合の使い分けを要理解しよう!